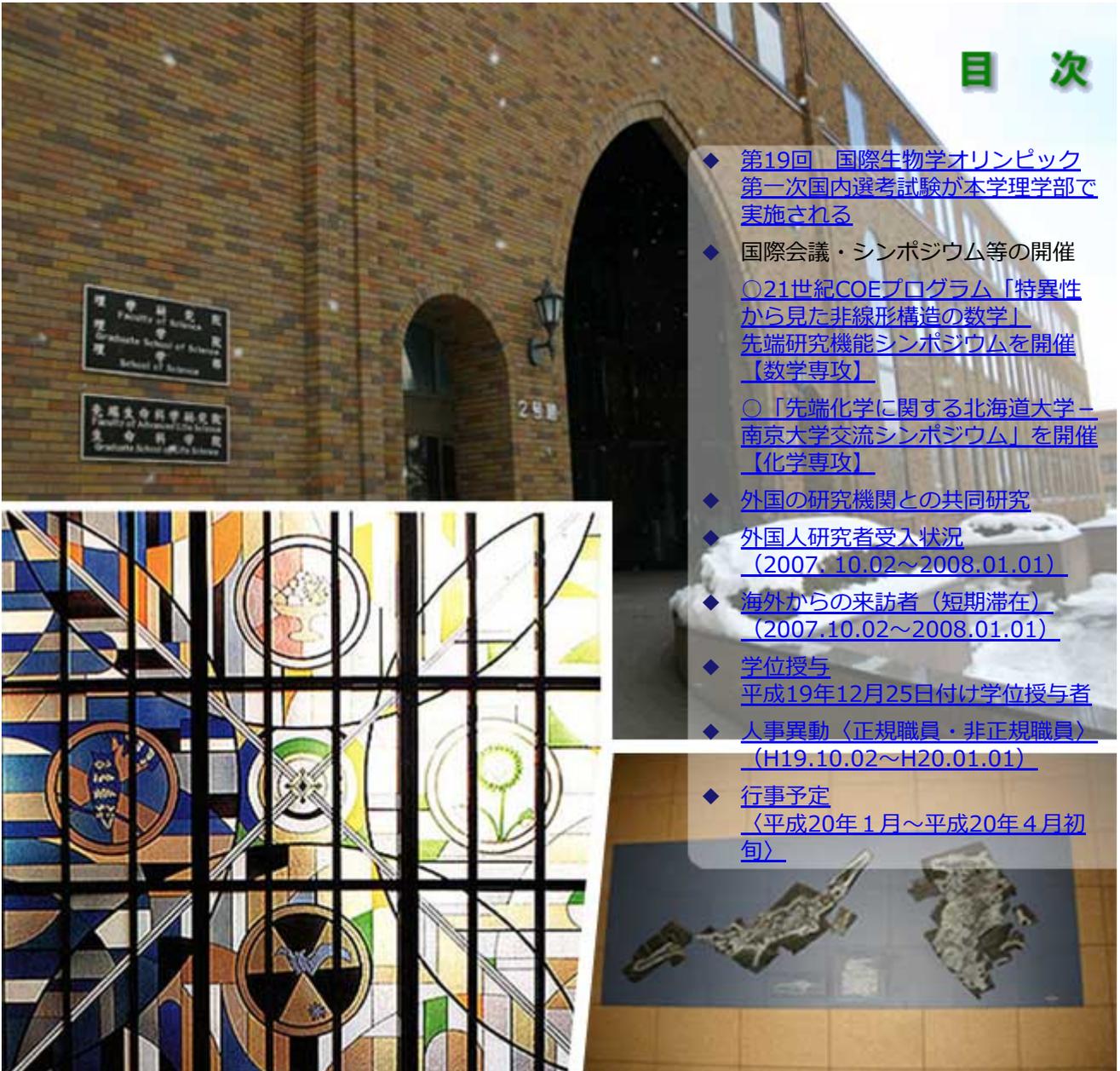




目 次

- ◆ [第19回 国際生物学オリンピック
第一次国内選考試験が本学理学部で
実施される](#)
- ◆ 国際会議・シンポジウム等の開催
 - [21世紀COEプログラム「特異性
から見た非線形構造の数学」
先端研究機能シンポジウムを開催
【数学専攻】](#)
 - [「先端化学に関する北海道大学－
南京大学交流シンポジウム」を開催
【化学専攻】](#)
- ◆ [外国の研究機関との共同研究](#)
- ◆ [外国人研究者受入状況
\(2007.10.02～2008.01.01\)](#)
- ◆ [海外からの来訪者\(短期滞在\)
\(2007.10.02～2008.01.01\)](#)
- ◆ [学位授与
平成19年12月25日付け学位授与者](#)
- ◆ [人事異動\(正規職員・非正規職員\)
\(H19.10.02～H20.01.01\)](#)
- ◆ [行事予定
\(平成20年1月～平成20年4月初
旬\)](#)



第19回 国際生物学オリンピック第一次国内選考試験が 本学理学部で実施される

生物学的才能のある学生を集め、彼らの才能を伸ばし、将来の科学者を育て、生物学の才能の損失を防ぐことを目的として、高校生を対象にした国際生物学オリンピック（IBO）が1990年から開催されている。日本は2005年から参加しているが、その第一次国内予選を北海道地区でも2006年から北海道大学理学部で行ってきた。今年は、帯広と函館でも一次予選をおこなっている。今年、理学部の会場では3人の札幌市内の高校生が受験した。2009年のIBOは日本が主催国になるので、来年以降、参加者の増加が予想されている。

国際会議・シンポジウム等の開催

○ 21世紀COEプログラム「特異性から見た非線形構造の数学」
先端研究機能シンポジウムを開催

【数学専攻】

Mathematical Aspects of Image Processing and Computer Vision 2007
Sapporo Guest House Symposium 23
The 7th Symposium of MAIPCV “MCAS symposium”

標記国際研究集会が2007年11月15日から11月17日にかけて、北海道大学理学部4号館508室（15・16日）、札幌天神山国際ハウス・研修室（17日）にて開催されました。画像処理やコンピュータ・ビジョンの分野は、情報科学技術の典型的な分野であり、従来より様々な数学の分野が、この分野の発展に本質的に寄与してきました。特に、幾何学の分野である特異点論や、解析学の分野である偏微分方程式論との関係が深く、世界各国では盛んに共同の研究がなされています。しかし、残念ながら、日本においては、情報科学と数学との結びつきは、あまり強いとは言えない状況でした。この状況を打破するために、北海道大学数学部門では2000年より、内外の情報科学の専門家及び特異点論研究者、偏微分方程式論研究者を含む様々な分野の数学者が活発に意見交換を行う場として、小規模ながらMathematical Aspects of Image Processing and Computer Vision（主催者、儀我（東大理／北大）、泉屋（北大理）、利根川（北大理）、出口（東北大情報））と題する国際研究集会を毎年開催してきました。今回はこの一連の研究会の第7回目にあたります。これまで、この研究集会には海外から、A. Bruckstein, R. Kimmel (2001年, Israel)、J. Rieger (2002年, Germany)、G. Aubert (2002年, France)、B. Kimiya (2003年, USA)、T.Y. Richard (2003年, USA)、P.J. Giblin (2004年, UK)、T. Chan (2005年, USA)、Y. Kergosien (2005年, France)、A. Chambolle (2006年, France)、S. Esedoglu (2006年, USA)と様々な国の数学及び情報科学の研究者が参加してきました。この研究集会は双方の分野の研究者が気軽に集まり、お互いに協力することにより、新たな分野を創造するための下地を作ることを目標としており、今後も毎年開催して行く予定です。



詳細はホームページをご覧ください：

<http://coe.math.sci.hokudai.ac.jp/sympo/maipcv/>

国際会議・シンポジウム等の開催

○「先端化学に関する北海道大学－南京大学交流シンポジウム」を開催 【化学専攻】

2005年12月、北海道大学大学院理学研究科と中国南京大学化学化工学院の 友好学術交流協定にもとづいて開始された「先端化学に関する北海道大学－南京大学交流シンポジウム」も今回で3回目となり、Jun-Jie Zhu教授が 中心となって11月20日から22日までの3日間に南京大学で開催されました。大学間協定校交流推進事業および理学院化学専攻が主宰する魅力ある大学院 教育イニシアチブ「高邁なる大志を抱いたT型化学者養成」からの旅費援助を受け、理学研究院化学部門の7名の教員ならびに理学院化学専攻の 大学院生5名が本学から参加しました。南京大学は中国の大学の中で五指に 入る大学であり、化学化工学院は1920年に開設されています。現在は化学科、 化学工学科および高分子科学・工学科で構成され700人の学部生、600人の 大学院生および220人のスタッフ（内5人が中国科学院院士、58人が正教授）を 擁する中国で有数の化学系教育・研究組織です。

シンポジウムは南京大学化学化工学院長と化学専攻副専攻長村越教授による 両大学の概況説明を含む開会式で始まりまし。南京大学兼職教授でもある 魚崎教授による基調講演を皮切りに、日本から参加した6名の教員、そして 南京大学および近隣の揚州大学の教員13名による化学の幅広い分野の講演が 行われ活発な議論が交されました。ポスターセッションでは理学院の大学院生 および南京大学の大学院生による19件の発表があり、活発なディスカッションが 行われました。このように、南京大学と本学の大学院生の間で直接的な交流が 行われたことは今回のシンポジウムの大きな特徴です。

このシンポジウムは北海道大学と南京大学との協定を基盤とするものですが、 南京大学近隣の大学からの参加者もあり、交流の裾野を広げようとしています。また、交流自身も、研究内容の紹介から共同研究へと、より実質を伴ったものになろうとしています。実際、これまでのこのシンポジウムの成果として、本学が 南京大学化学化工学院から受け入れる大学院生や博士研究員の数は年々増加 しています。また、このシンポジウムにて本学のグローバルCOEプログラム（化学）「触媒が先導する物質科学イノベーション」も紹介され、同COEが進める「アジア連携大学院（仮称）」により、今後より多くの中国からの 大学院生を受け入れる可能性があります。来年、中国からの多くの大学院生を 迎えて第四回シンポジウムを札幌で開催することを約束して会を閉じました。



外国の研究機関との共同研究

理学研究院 自然史科学部門（地球惑星ダイナミクス分野）知北 和久 准教授は、2007年4月1日～2008年3月31日の間、米国アラスカ大学国際北極圏研究センター Yongwon Kim 助教授と、受託研究及び21世紀COE経費により、「陸域・海洋相互作用に関する研究：ユーコン河とベーリング海」の共同研究を行っています。

[<< Back to TOP](#)

[Next Page >>](#)

外国人研究者受入状況

期間：2007年07月02日～2007年10月01日

(受入れ部門名：数学)

年月日 (期間)	来訪者 (国名・所属・職名・氏名)	目的 【経費等・受入教員】
2007.04.01 -2008.09.19 【追加報告】	インド：C.C.S. University, Meerut 研究員 Punam Phartyal	研究打合せ 【私費(研究者本人負担)・井上 昭彦】
2007.09.01 -2008.03.31 【追加報告】	中国：Fudan University 研究員 Lei Yi	研究打合せ 【私費(研究者本人負担)・中村 玄】
2007.09.04 -2007.10.31 【再掲】	カナダ：University of Toronto 教授 Grigory Mikhalkin	研究打ち合わせと、研究集会 (Tropical Geometry and Related Topics)への 参加と講演 【日本学術振興会事業・石川 剛郎】
2007.09.30 -2007.10.27 【再掲】	イギリス：University of Durham 講師 Farid Tari	特異点論の応用としての微分幾何と偏微分 方程式に関する研究打ち合わせ 【私費(研究者本人負担)・泉屋 周一】
2007.10.09 -2009.10.18	オランダ：University Libre de Bruxelles 研究員 Otto van Koert	研究打ち合わせ 【日本学術振興会事業・小野 薫】
2007.10.20 -2008.10.20	中国：North East Normal University 研究員 陳 亮	研究打ち合わせ 【私費(研究者本人負担)・泉屋 周一】
2007.11.04 -2007.12.03	ドイツ：Max Planck Institute for Mathematics in the Sciences ポスドク研究員 Luca Mugnai	研究打ち合わせ 【科学研究費補助金・利根川 吉廣】
2007.12.04 -2008.01.29	イタリア：Politecnico di Milano 准教授 Michele di Cristo	研究打ち合わせ 【科学研究費補助金・中村 玄】

(受入れ部門名：化学)

年月日 (期間)	来訪者 (国名・所属・職名・氏名)	目的 【経費等・受入教員】
2006.05.01 -2007.03.18 -2008.04.30 (H20.6.10修正) 【再掲】	スウェーデン： 日本学術振興会・外国人特別研究員 Reza Dabirian Tehrani	分子内の電子伝導に及ぼす 分子内相互作用の効果に関する研究業務 【日本学術振興会事業・魚崎 浩平】

(受入れ部門名：自然史科学)

年月日 (期間)	来訪者 (国名・所属・職名・氏名)	目的 【経費等・受入教員】
2007.06.04 -2007.08.24 【再掲】	トルコ：Kocaeli University (コジャエリ大学) Research Assistant (研究助手) Taciser CETINOL (タージサジ セティノ ル)	地震表面波を用いたトルコ地域直下の上部 マントル構造の研究 【国際協力機構(JICA)・吉澤 和範】
2007.06.09 -2009.06.08 【再掲】	ロシア連邦：ロシア科学アカデミー 太陽地球物理研究所 Junior Research Scientist・ Elvira I. Astafyeva	稠密GPS網を利用した地震に伴う電離層 擾乱に関する研究 【日本学術振興会事業・日置 幸介】
2007.07.01 -2007.12.31 【再掲】	イラン：サーフルード工科大学 准教授・Gholam Abbas KAZEMI	北海道大学大学院理学研究院外国人研究員 「地底湧出地下水に関する研究」 【(財)松前国際友好財団経費・角皆 潤】
2007.11.01 -2007.12.04	ドイツ・マグデブルク市： UFZ-Helmholtz Center for Environmental Research・Limnophysics Leader (ドイツ国立ヘルムホルツ環境研究センター ・湖沼物理学部門リーダー) 博士 Bertram Boehrer (バートラム・ボエラー)	「火山性探湖の循環機構に関する比較研 究」 に基づく現地調査 【日本学術振興会事業・知北 和久】

(受入れ部門名：生命理学)

年月日 (期間)	来訪者 (国名・所属・職名・氏名)	目的 【経費等・受入教員】
2007.07.11 -2007.12.31 【再掲】	中国：河北工業大学 准教授・李 学 鋒	中国「人材育成事業」研修員として技術研 修 【中国政府：日本政府開発援助 (ODA) 円 借款 活用・龔 劍萍】

(受入れ部門名：地震火山研究観測センター)

年月日 (期間)	来訪者 (国名・所属・職名・氏名)	目的 【経費等・受入教員】
2007.12.03 -2008.01.31	インド：Scientist 'E', Earth System Sciences Division, Department of Science and Technology, Ministry of Science and Technology, India (インド科学技術省科学技術局地球システム 科学部門・研究員レベルE) Chadaram Sivaji	深部地下構造探査法の研究 【北海道大学 (外国人教員) 経費・茂木 透】

(受入れ部門名：総合博物館)

年月日 (期間)	来訪者 (国名・所属・職名・氏名)	目的 【経費等・受入教員】
2007.03.19 -2007.12.31 【再掲】	USA・Searlle : PhD student of archaeology at the University of Washington	同位体分析をもちいたオホーツク文化 集団移動の解析に関する研究 【外国政府・研究機関及び国際機関によ

(ワシントン大学・博士課程大学院生)
James Taylor,

るもの
・天野 哲也】

[<< Back to TOP](#)

[Next Page >>](#)

海外からの来訪者（短期滞在）

期間：2007年10月02日～2008年01月01日

（受入れ部門名：数学）

年月日 (期間)	来訪者 (国名・所属・職名・氏名)	目的 【経費等・受入教員】
2007.09.30 -2007.10.27	イギリス： University of Durham 講師 Farid Tari	「特異点論の応用としての微分幾何と偏微分方程式」に関する研究打ち合わせ 【泉屋 周一】
2007.11.06 -2007.11.07	韓国： Korean Institute for Advanced Study 教授 Jun Muk Hwang	研究打ち合わせ 【松下 大介】
2007.11.06 -2007.11.24	ロシア： Russian State Gubkin University of Oil and Gas 教授 Viacheslav Sedykh	研究集会(Mathematical Aspects of Image Processing and Computer Vision 2007) への参加と研究打合せ 【泉屋 周一】
2007.11.10 -2007.11.24	イギリス： The University of Liverpool 博士課程 Declan Davis	研究集会(Mathematical Aspects of Image Processing and Computer Vision 2007) への参加と研究打合せ 【泉屋 周一】
2007.11.11 -2007.11.18	イギリス： University of Reading 教授 Roland Potthast	研究打合せ 【中村 玄】
2007.11.11 -2007.12.02	イギリス： University of Edinburgh ポスドク Anna Kirpichnikova	研究打合せとセミナーでの講演 【中村 玄】
2007.11.12 -2007.11.19	ドイツ： Christian-Albrechts-University of Kiel 教授 Gerald Sommer	研究集会(Mathematical Aspects of Image Processing and Computer Vision 2007) への参加と研究打合せ 【利根川 吉廣】
2007.11.14 -2007.11.17	中国： Microsoft Research Asia 研究員 松下 康之	研究集会(Mathematical Aspects of Image Processing and Computer Vision 2007) への参加と研究打合せ 【利根川 吉廣】
2007.11.30 -2007.12.04	オーストラリア： University of New England 講師 Adam Harris	研究打合せ 【利根川 吉廣】
2007.12.16	ロシア： Moscow Center for	研究打合せ

-2007.12.20	Continuous Mathematical Education 研究員 Yuri Chekanov	【小野 薫】
-------------	--	--------

(受入れ部門名：化学)

年月日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的 【経費等・受入教員】
2007.09.09 -2007.09.11	Italy : University of Perugia Professor Antonio SGAMELLOTTI	表敬訪問および学術講演 【武田 定】
2007.10.22 -2007.10.29	インド : Indian Institute of Science (インド科学研究所) Associate Professor Srinivasan Sampath	視察および学術講演 【魚崎 浩平】
2007.11.14	アメリカ合衆国 : University of Maryland (メリーランド大 学) Associate Professor Robert Walker	視察および研究討議 【魚崎 浩平】

(受入れ部門名：自然史科学)

年月日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的 【経費等・受入教員】
2007.10.14 -2007.10.18	アメリカ合衆国 : アラスカ大学 国際北極圏研究セ ンター 助教授 Yongwon Kim	共同研究の打合せ 【知北 和久】
2007.10.19 -2007.10.21	Germany : Technical University of Braunschweig Professor Juergen Blum	研究討議 【小笹 隆司】
2007.11.01 -2007.11.15	イギリス・ロンドン : Natural History Musuem, London, UK (イギリス自然史博物館) professor Dr. Beth Okamura	COE「新・自然史科学創成」の研究課 題に 関する共同研究・打合せ、講演など 【馬渡 駿介】

(受入れ部門名：生命理学)

年月日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的 【経費等・受入教員】
2007.10.31 -2007.11.02	アメリカ合衆国 : The Polymers Division of NIST NIST Fellow & Senior Scientist Wen-li Wu	講演等 【龔 劍萍】
2007.11.27	ドイツ : University of Mainz Professor Rudolf Zentel	大学施設等の視察 【龔 劍萍】

学位授与

平成19年12月25日付け学位授与者（4名）

【課程博士】

森 秀夫（数学専攻）

Chu correspondences
(Chu 対応)

主査 教授 津田 一郎

松本 和宏（数学専攻）

Controlling Engine System:A Low-Dimensional Dynamics in a Spark Ignition
Engine of Motorcycle
(エンジンシステムの制御：二輪自動車用火花点火機関の低次元ダイナミクス)

主査 教授 津田 一郎

前田 哲宏（生物科学専攻）

Chemical Biology for the Characterization and Regulation of Human and
Helicobacter pylori Fucosyltransferases
(ヒトおよびHelicobacter pylori 由来フコース転移酵素の機能解明と制御に
関する生物有機化学研究)

主査 教授 西村 紳一郎

【論文博士】

富山 元彦（数学専攻）

Internal logic viewed from observation space: Theory and a case study
(観測空間から見た内部論理－理論と事例研究)

主査 教授 津田 一郎

人事異動

対象期間：平成19年10月2日～平成20年1月1日

<正規職員>

平成19年10月11日付け発令

(命)

分子情報連携研究センター長（任期：H19.10.11～
H21.10.10）
化学部門物理化学分野教授

魚 崎 浩 平

平成19年10月31日付け発令

(辞職)

化学部門有機・生命化学分野助教
平成19年11月1日付け
公立大学法人秋田県立大学生物資源科学部助教へ

常盤野 哲 生

平成19年11月1日付け発令

(昇任)

生命理学部門生命機能科学分野教授
同分野准教授から

松 島 俊 也

平成19年12月1日付け発令

(転出)

化学部門有機・生命化学分野助教
触媒化学研究センター准教授へ

原 賢 二

<非常勤職員>

平成19年10月10日付け発令

(辞職)

庶務・人事担当 事務補助員

東 美 花

平成19年10月12日付け発令

(採用)

化学GCOE 博士研究員

趙 健 偉

平成19年10月15日付け発令

(辞職)

自然史科学部門 学術研究員

杉山耕一郎

平成19年10月17日付け発令

(採用)

化学GCOE 博士研究員

仲 崇 民

平成19年10月31日付け発令

(任期満了)

新・自然史COE 博士研究員

小 松 大 祐

平成19年11月 1日付け発令

(採用)

化学GCOE 博士研究員

神 谷 宗 明

(採用)

自然史科学部門 技術補助員

小 松 大 祐

平成19年11月30日付け発令

(任期満了)

地震火山研究観測センター 特任教授

アノニー ウィリアム ハースト

(任期満了)

教務担当 事務補助員

横 川 礼 実

平成19年12月 1日付け発令

(配置換)

医学研究科 博士研究員

物理学部門 博士研究員から

鈴 木 隆 介

(配置換)

物理学部門 博士研究員

同部門 学術研究員から

山 田 志 真 子

(採用)

地震火山研究観測センター 特任教授

サダマ シンジ

物理学部門 学術研究員

石塚知香子

平成19年12月10日付け発令

(採用)

生命理学部門 事務補助員

澤田光江

平成19年12月31日付け発令

(辞職)

新・自然史COE 博士研究員

天羽美紀

平成20年1月1日付け発令

(採用)

数学部門 事務補助員

山下明子

化学部門 技術補佐員

置田貴代美

生命理学部門 技術補助員

金子あかね

行事予定

〈平成20年1月～平成20年4月初旬〉

月	日	曜	事 項
1	7	月	全学教育・理学部・大学院理学院授業再開
	10	木	大学院理学院第二次入試出願資格予備審査結果通知【16：30頃】
	11	金	大学院理学院修士（博士前期）課程・博士後期課程第二次入学願書受付【～17日（木）】
	19	土	大学入試センター試験【～20日（日）】【18日（金）休講】
	22	火	全学教育科目補講日【～23日（水）及び29日（火）～30日（水）】
	30	水	全学教育科目第2学期授業終了
	31	木	転学・転部・転科・編入学・再入学申し出締切 全学教育科目定期試験【～2月13日（水）】
2	5	火	【4日（月）午後～6日（水）原則休講：条件により一部は実施可】 大学院理学院修士（博士前期）課程・博士後期課程第二次入学試験【～6日（水）】
	8	金	3月学位授与予定者の審査報告関係書類提出締切 修士論文題目提出締切
	12	火	大学院・学部専門科目補講・集中講義期間【～21日（木）】
	14	木	全学教育科目追試験【～18日（月）】
	15	金	学位申請（3月付託）締切 研究生・聴講生・科目等履修生入学願書受付【～21日（木）】
	25	月	本学第2次入学試験（前期日程）【22日（金）試験場設営】
	28	木	大学院理学院修士（博士前期）課程・博士後期課程入学試験合格者発表【16：30頃】 研究生・聴講生・科目等履修生入学許可通知【16：30頃】
3	上～中旬		学科等分属手続き（平成17年度以前入学者のみ対象）
	12	水	本学第2次入学試験（後期日程）【11日（火）試験場設営】
	25	火	学位記授与式
	28	金	学位申請（4月付託）締切
4	1	火	大学院理学院入学式
	3	木	大学院・学部専門科目（理学部共通科目を除く）授業開始
	7	月	学部新入生オリエンテーション及びガイダンス
	8	火	北海道大学入学式
	10	木	全学教育科目（理学部共通科目を含む）授業開始